

一般財団法人ポエック里海財団

平成 25 年度事業報告書

(平成 24 年 12 月 1 日から平成 25 年 11 月 30 日)

当財団は、ポエック株式会社が CSR の一環として平成 20 年から取り組んでいる小佐木島の再生プロジェクト事業（小鷺島バイオオイル計画）を発端とし、広く瀬戸内海の里海の再生及び保護を目指し、不特定多数の者の利益の増進を目的としたものを実施する事業体として平成 23 年 12 月に設立した。

そのため、「持続可能な経済の実現に向けて、私たちが育む自然環境、歴史、文化の保護に貢献するとともに、広く一般に瀬戸内海の里海文化への理解と関心を芸術的観点から醸成し、環境再生の研究への助成と人材育成を行うことで社会に貢献する」ことを財団の目的に掲げている。

以下、平成 25 年度（第 2 期）に実施した実施事業の概要について報告する。

当財団第 2 期の活動は、公益申請手続きに向けての体制整備及び書類作成が中心であった。これらを行う課程で、財団の中心となる事業を「離島再生事業（小鷺島バイオオイル計画事業）」、「里海の環境を保護する人材育成事業」、「情報公開・普及事業」と定め、そのうち「離島再生事業（小鷺島バイオオイル計画事業）」について活動を計画し、実施した。

活動実績としては、下記の通りである。

1. 植樹事業

平成 25 年 4 月に、植樹祭を実施した。今回は、例年通り島の方々との絆を深めること以外に、公益法人化後を意識して、公益法人後理事・評議員・監事になられる方々への活動紹介及び、植樹祭参加者応募を見据えて、この様な活動に興味を持つ若者等に参加して頂き、感想を聞いた。

2. 古民家再生事業

平成 25 年 2 月頃より計画を進め、3 月には状況把握をするための掃除を実施した。その後、建物の調査等を実施し、本格的な工事の準備を行っている。

また、建物の調査の過程で床下から当時の生活風土が窺える食糧の貯蔵庫が見つかった。当財団は財団の目的に鑑み、詳細調査及び設計の見直しを行う必要があると判断したことから、工事は当初計画より大幅に遅れている。